



国内では、自公連立政権が過半数の議席を確保できませんでした。トクリウ・闇バイトによる強盗事件、

新年明けましておめでとうございます。2025年巳年を迎え皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。巳年は、復活と再生を意味する新しいことが始まる年になる。努力を重ね物事を安定させていくとも言われます。

新年のご挨拶

会長 齋藤勝則

2025年
新年に向けて



発行者 齋藤勝則
編集者 丸山郡次
関谷昌樹
渡辺次夫

円安・物価高、103万円の壁問題などがあります。日本を取り巻く環境では、今年アメリカ大統領が変わります。新大統領がどのような行動し世界にどのような影響を及ぼすのか心配されます。また、戦争が長引いている地域では終結が見通せず心配です。しかし、関係する皆さんが努力を積み重ね、2025年が安全で安心して暮らせる世の中になって行くことを祈ります。年末から感染症の拡大が懸念されました。予防接種や各自で出来る感染対策を実施して病気にかかることなくお元氣にお過ごしください。

OB会では、昨年から試みとして会員の皆さんに半年先迄の活動計画をお知らせしています。この計画に沿って活動を進めています。

また、検討を進めている5年先を見据えたOB会活動の方向性や考えを機会あるごとに皆さんと話し合っています。皆さんが考えてくださいます。皆さんの協力をお願い致します。

パリ旅行記 副会長 丸山郡次

皆さん、今後ともOB会活動に一層のご協力とご理解をお願い致します。

恋人たちが掛けた南京錠が隙間なくぶら下がっている橋を渡り「オルセー美術館」へ、ここには美術の教科書に載っている絵が山程。観光本に載っている絵が見つからないので尋ねたら、日本の美術館に展示中との事であった。シテ島の「ノートルダム寺院」を見て「ルーブル美術館」へ。ミロのビーナスやモナリザに逢い、美術館を出るとそこにはガラスのピラミッドであった。三日目は、電車やバスを乗り継ぎ「ベルサイユ宮殿」へ、流石ルイ王朝の宮殿 豪華絢爛！私は少女漫画で「ベルサイユの薔薇」が話題になったのは知っていたが、プトリアノンは知らなかった。云わばマリーアントワネットの宮殿だが、その奥に小さな農家があり家畜が寝そべり返っていた。マリーは好んでここに來たらしい。宮殿の欺瞞に満ちた虚偽的生活から逃



避したかったのだろうか。四日目は、娘達と別行動。妻と二人で「モンサンミッシェル」へ。春の陽光を受け静かな大西洋に面し非常に気持ちのいい景色と空気であった。最終日のフライトは夜だったので午前中フランスの「自由の女神」を見て、エッフェル塔へ。エレベーターが、脚に沿って斜めに動くのを見て塔の下が何も無い大空間になっているという長年の疑問が解消した。パリオリンピックの閉会式を見て家族での旅行を懐かしかった次第です。



独断偏言

1930年代ドイツの医師ゲルソン博士が癌の治療法として考案した栄養食事療法がある。これを1990年福島医大の神経精神科星野医師が、日本人が可能な食事療法に改良し（星野式ゲルソン療法）、見事に自身の大腸癌から転移した肝臓癌を完治させた。1998年郡山在住の松井清氏は、末期の前立腺癌（PSA9560で背骨・腰骨に転移し、医師に余命半年と見放されていた）だったが、最後に星野式ゲルソン療法に飛び、見事に体内から癌細胞を駆除し4年度には完治させた。私は2つ目となった前立腺癌が見つかった時、ネット検索で知り、直ぐに松井氏宅を訪ね教えを請うた。その後度々面談し、私も厳しい食事療法を約半年続けた。もし癌で悩んでいる人が居たらぜひ参考に！！ほぼ全部の癌が対象になりますよ。

未熟者